▼市民参加・市民との協働

◎市長の出前行政相談の開催や市政モニター制度の推進。

◎小松島市都市計画マスタープラン、小松島市健康増進計画健康こまつしま21、地域防災計画の見直しに関するパブリックコメントの実施や津波避難計画策定に関するワークショップの開催。

平成25年度決算（普通会計）（累積黒字額50百万円）

平成25年度普通会計決算は、50百万円の累積黒字額となりました。

歳入では、市税は減少となったものの、地方交付税総額が前年度以上に確保されたことに加え、歳出では、7月から適用した特別職・一般職員給与削減などの人件費の減や公債費の減少などを要因に、単年度収支では16百万円の黒字となりました。

そして、今回市民の皆様にお知らせするのが、平成25年度決算を基にした、図中（B）のラインです。

平成26年度以降の財政収支の推移については、歳入の市税では、引き続き減収が見込まれており、地方交付税総額も近年の水準が堅持されていくことは非常に厳しい見通しであります。

また、歳出の投資的経費については、平成26年度当初予算に新中学校建設事業や本庁舎などの公共施設耐震化事業などを計上した結果、大幅に事業費が増加しており、平成27年度当初予算では、前年度以上に大型の普通建設事業が集中する見通しであることから、図中（B）のラインにお示ししておりますとおり、平成27年度決算見込については、平成26年度からの5ケ年度で単年度収支が一番厳しい見通しとなっております。

なお、今回お示しする図中（B）のラインについては、現時点での結果および予測に基づくものであり、今後における事業進捗をはじめ、国の予算編成、地方財政対策、税制改正、社会経済情勢などで大きく変わることが想定されます。

今後も市民の皆さんのご協力のもと「行財政改革」を推進します。

平成25年度決算においては、国の緊急経済対策の一環としての「地域の元気臨時交付金」を活用し、市債発行額の抑制に努めたことや、「緊急防災・減災事業債」などの財源効率が高い地方債メニューを予算編成に効果的に反映するなど、後年度の収支見通しへの影響を見据えた財政運営に努めました。平成27年度以降の予算編成においても、引き続き、こうした国の予算編成動向などを注視し、財政運営の効率化を図り、財政健全化を推し進めてまいります。

こうしたことから、今後の歳入の推移がより一層厳しい状況も見据え、引き続き行財政改革を推進していく必要があり、そのためには、市民の皆様のご理解とご協力が不可欠です。

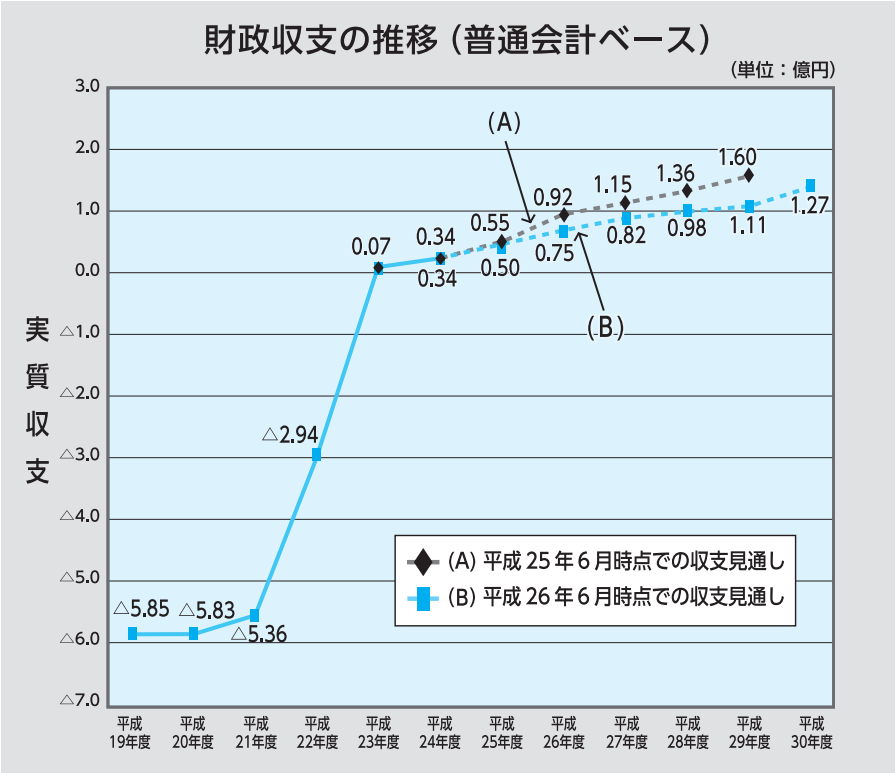
今後とも市民の皆様には積極的に情報提供を行うとともに、市民参加型の市政運営に努めてまいりますので、今後もよろしくお願いいたします。

平成25年度　健全化判断比率の状況（速報値）　（単位：%）

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	(0.55) −	(11.24) −	算定中	算定中
早期健全化基準	13.51	18.51	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

平成24年度　健全化判断比率の状況　（単位：%）

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	(0.37) −	(12.67) −	16.0	99.0
早期健全化基準	13.52	18.52	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	



＜バス定期券・回数乗車券のお求めは小松島市営バスまで。☎32・3222＞